

小学校5年生 理科の教科書を開いてみよう！

☆自学ノートを使ってまとめたり考えたりすることで予習になるよ☆

「やってみたいな。」
「ためしてみたいな。」が
見つかるよいいね♡



きけんことはしません。
家を離れるときは、おうちの人
といっしょに出かけましょう。

【地球】 天気の変化

教科書P 6, 7 **空のようすを見てみよう！**

- ・写真を見て、気づいたことや疑問に思ったことを書き出してみよう。
- ・写真を見て、この後の天気を予想できるかな？

雲はどのように動いているのか。 **雲にはどんな特ちょうがあるのか。**

教科書P 8, 9 **雲のようすから天気の予想はできるのか。**

- ・家のまどから見える空には、どんな雲があるかな？
- ・しばらく見ているとどちらの方角に動いていくかな？
- ・すこし時間がたつと、どんな変化が見られるかな？
- ・雲を見ていて、この後の天気の予想はできるかな？
- ・教科書P 10, 11で紹介されている雲は見つかったかな？

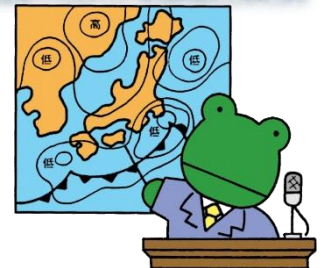


教科書P 12～15

天気予報のヒミツをさぐろう！

どのように天気を予報しているのだろうか。

- ・新聞やテレビでの天気予報を注意して見てみましょう。
- ・どんな情報が伝えられているかな？どんな予報をしているかな？
- ・どの情報から予報しているのか考えてみよう。



教科書P 16 **天気予報のことわざには、どのようなものがあるのか。**

天気に関することわざは、本当なのだろうか。

- ・天気に関することわざを調べてみよう。
- ・地いきに伝えられている天気のことわざがないか、おうちの人にきいてみよう。
- ・本当にことわざのような天気の変化があるのか、確認してみる。



家の物を使うときには、家の人の許可を
もらうこと。勝手に使ってはいけません。



【物の性質】 もののとけ方

教科書P 96, 97 **ものが水にとけるとき、どのようになっているのか。**

- ・食塩をティーバックの中に入れて、水につけてみる。
- ・水の中のようすを観察して、気づいたことを記ろくする。
ペットボトルではなく、透明のコップでもできます。
食塩ではなく、あめ玉を糸でつるしてみてもいいね。
- ・さとう、食塩、片栗粉、小麦粉などを水に入れてかきまぜてみよう。
どんなようすかな？ 同じ変化をするのかな？



チャレンジ！ **こい食塩水をおいておくと、どんな変化がみられるのだろうか。**

- ① コップに水を入れ、その中に食塩を入れてよく混ぜてときます。
食塩のつぶが見えなくなったら、さらに食塩を入れてよく混ぜます。
食塩のつぶがよく混ぜても沈んで見えるまで食塩を加えます。
- ② 食塩が沈んでいるえきの透明の部分の少し浅い容器に移して水がなくなるまで静かに置いておきます。
(ふたは、しません。ゆらしたり動かしたりしないことがポイントです。かなり時間がかかります。)
さて、容器には何が残るかな？



【復習】 4年生の理科で学習したことを自分でまとめてみる 4年生のときの教科書やノートを使おう！
 あたたかさ生き物（春夏秋冬の生物のようす・気温のようす）、天気と気温、
 空気と水の性質、金属、水、空気のあたたまり方、
 電流のはたらき
 動物のからだのつくりと運動、
 自然の中の水、
 月や星の見え方（月や星の観察にチャレンジしてもよいね。）

自分でまとめることができるとうごいね！



【各学年共通の観察記録＊オリジナル図鑑】

家でお世話している動物や育てている植物を観察して、観察記録をかいてみよう。
 続けて観察すると新たな発見！があるかもしれません。
 興味があるものについての図かんや資料が家にあるならば、自分のオリジナル図かんをつくってみよう。
 よりおもしろい発見ができるかもしれません。

調べる問題は、 の文章を見て、自分で考えてみよう。同じでもよいです。
 教科書の別のページで調べてみたいことを問題にするのもよいね。
 また、夏休みの科学研究のように、生活の中で、ふしぎに思ったことを自分で問題にして取り組むことができたら、すごいですね。

自学ノートの書き方の例

① 学習した日（時間）
5月6日（水） 10:00～12:00

② 調べる問題
観察や試してみること・やってみることで、何を調べるのか（何を知らりたいのか）を書く。

③ 予想
問題に対する自分の予想を書く。予想の理由を書けるとすばらしい！観察の場合は、予想がない場合もある。

④ 実験・観察
実験で試してみること・やってみることを方法を順番に書く。ものづくりの場合は、作る手順を書く。図や絵も書くとうかりやすい。
観察の場合は、どこで、何を観察するのか、どんなところに注意して観察するのかなどを書く。

⑦ まとめ
②の問題に対する答えとなるように書く。「ここまでは分かった」という途中の場合も「はっきりしなかった」や「分からなかった」となる場合もある。

問題	○○○は、どのようになっているのだろうか。	結果	●のとき ◆のとき *** (図) *** (図)
予想	○○○は、△△のようになっている。 わけは、◇◇のときに……だったから。	考えたこと	●のときも◆のときも***となったから、予想とちがって、○○○は▽▽だと考えられる。
実験	① …… をする。 (実験の図や絵)	まとめ	○○○は▽▽のようになっている。しかし、◇◇については、よく分らなかった。
	② …… をたしかめる。 (実験の図や絵)	感想	●や◆を工夫して調べることができた。◇◇についてのときも調べてみたい。
	③ …… もためしてみる。		

⑤ 結果
実験で試してみた・やってみた結果を書く。文章だけでなく、図（絵）や表も使って書くと分かりやすい。観察の場合は、スケッチや気づいたことを書く。

⑥ 考えたこと（考さつ）
実験や観察の結果をもとに考えたこと・気づいたことを書く。

4年生の理科で学習したことを自分でまとめてみるときには、
 学習した日、テーマ・題名（何についてまとめるのか）をはじめに書いてから、
 図や絵も入れてまとめてみよう。
 さいごには、自分のまとめ学習をふりかえって、感想を書きましょう。